

## 平成 24 年第 2 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
近 藤 育 雄	<p><b>葬斎場利用における受け入れ態勢の整備について</b></p> <p>「葬斎場を通夜、葬儀ともに使用することができないものか」との声がある。その一方で、過去数例ではあるが本所においてお通夜を行なった実績があるとも聞き及んでいる。</p> <p>当町では殆ど家で自宅葬が行われており、今後ともこの傾向は継承され続けると思うが、昨今様々な事情により、自宅で葬儀を行うことが困難な事例が発生している。</p> <p>そこで、通夜を含めた葬儀が葬斎場でできるよう、条例の整備も含めて、受け入れ態勢の標準化について、町長の考えを伺う。</p>	町 長
伊 藤 忠 之	<p><b>「人と農地の問題」の解決に向けた取組みについて</b></p> <p>全国で、高齢化や耕作放棄地の増加など、5年後、10年後の地域農業の将来について「人と農地の問題」があり、本町の農業も例外ではない。</p> <p>この問題を解決していくためには、各地域の農業の将来のあり方について具体的に話し合う等して、行政と地域が問題意識、危機感を共有していかななくてはならないと考えるが、その必要性と地域の「人と農地」に関する将来計画、構想についてどのような話し合いを行なっていくのか、町長に伺う。</p>	町 長

<p>小 辻 隆 治 郎</p>	<p><b>歴史民俗資料館の活用について</b></p> <p>小値賀町の「まちづくり」については、いろんな面からのアプローチがあるが、最近の観光形態もその一つである。小値賀の自然やおもてなしは他の地域と比較してもすばらしいものと思う。しかし、類似な所もあることも然りである。そこで地域の独自性を前面に出すためにも、地域の歴史文化的魅力を引き出し、活用することが、個性的で持続的なまちづくりにつながると思う。</p> <p>( 1 ) 資料館の展示物には、有名なものもあるが、真正なものかどうか伺う。</p> <p>( 2 ) 展示物の内容の啓発活動として、町内向けにはどういう活動をしているのか、伺う。</p> <p>( 3 ) 展示物の内容をパンフレット化し、地区要所に配置することが、町外者の利用を促進し、町民も認識を新たにすると考えるが、その点を伺う。</p>	<p>町 教 育 長</p>
	<p><b>町営船船員の募集について</b></p> <p>役場職員の採用については、首長の専権事項であることは承知している。ただ、公器である役場の職員採用にあたっては、公正、公明、公開も要求されるのでないか。今回、町営船船員の募集に対しどういう結果になったのか、伺う。</p> <p>( 1 ) 今回の募集に対し、何名の応募があり、結果はどうだったのか。</p> <p>( 2 ) 職員募集に関し、「内部文書」が出回ったということだが、どういう内容で、どういう趣旨なのか、伺う。</p> <p>( 3 ) 面接もなかったと聞いたが、その点を伺う。</p>	<p>町 長</p>